

議会運営委員会

日 時 令和 7 年 6 月 27 日 (金) 午後 1 時 30 分～
場 所 全員協議会室

1 追加議案について

(1) 概 要 (別添)

第5号議案 一般会計補正予算 (第2号)

2 意見書案について

(1) 国民健康保険における国庫負担率の引き上げおよび早急な制度の改革を
求める意見書 (案)

【別紙No.1】 ○発議者 環境市民厚生常任委員長

(2) 医療・介護従事者の処遇改善を求める意見書 (案)

【別紙No.2】 ○発議者 環境市民厚生常任委員長

3 決議案について

(1) 恒久平和を願い平和社会の実現を目指す決議 (案)

【別紙No.3】 ○発議者

(2) 筆舌に尽くし難い苦難、計り知れない損害と苦痛を経験された沖縄県民に
心を寄せ、正しい歴史認識を後世に語り継ぎ、恒久平和の実現に力を尽く
す決議

【別紙No.4】 ○発議者

4 決算特別委員会の設置について

(1) 構 成：議長、議選監査委員を除く22人 (先例・申合せ156)

(2) 所管事項：令和6年度各会計決算に関する事項

(3) 審査期限：審査が終了するまで (9月議会議決まで)

(4) 休会中の審査：事務事業評価の選定及び論点整理 (各分科会で抽出) 、

事前勉強会

【次ページに続く】

5 6月議会最終日（6月30日）の日程等について

（1）会議予定 ※午前10時から

①**本会議**（追加議案の提案理由説明、質疑、付託）

②環境市民厚生常任委員会（付託議案審査～表決《休憩》委員長報告確認等）

総務文教常任委員会及び産業建設常任委員会（委員長報告の確認等）

＜議運事前調整＞

③議会運営委員会

＜会派会議＞

④**本会議**（詳細は議事日程参照）

※午後1時30分予定（委員会の進行により遅れる場合あり）

⑤議長記者会見、広報部会・広聴部会

（2）議事日程

（諸報告）

第1 第5号議案（提案理由説明、質疑、付託）

◎付託表（その2）はタブレットに格納

＜休憩＞

第2 報告第1号、第1号議案から第5号議案及び請願について

（委員長報告～表決）

第3 意見書案について（質疑、討論、表決）

第4 決議案について（質疑、討論、表決）

第5 決算特別委員会の設置について

○上記終了後、全国市議会議長会表彰伝達

（被表彰者）議員10年表彰：小川議長、三上議員、平本議員

（3）討論通告期限 **本日27日（金）午後4時**

※第5号議案 **30日（月）委員会審査終了時**

【次ページに続く】

6 9月議会日程案について【別紙No.5】

7 その他

(1) 子ども議場見学会について

(2) 議会運営委員会等の日程

6月30日(月) 3常任委員会終了後 議運事前調整(正副議長、正副委員長)

上記終了後 議会運営委員会

7月18日(金) 10:00~ 議会活性化の検討

8月18日(月) 13:30~ 議会活性化の検討

(3) その他の委員会等の日程(7月)

18日(金) 13:30~ 総務文教常任委員会・決算分科会

28日(月) 13:30~ 産業建設常任委員会・決算分科会

29日(火) 10:00~ 環境市民厚生常任委員会・決算分科会

14:00~ 議員団研修会(議会とハラスメントについて)

令和7年6月議会議案付託表(その2)

付託委員会	議案番号	件名
環境市民 厚生常任	5	令和7年度亀岡市一般会計補正予算(第2号)

写

別紙No.1

令和7年6月26日

亀岡市議会議長 小川 克己 様

発議者 環境市民厚生常任委員長 土岐 新

意見書案の提出について

別紙意見書案を当市議会の議決をもって、それぞれの宛先に提出されたく、亀岡市議会会議規則第14条第2項の規定により提出します。

国民健康保険における国庫負担率の引き上げおよび 早急な制度の改革を求める意見書（案）

国民健康保険は、国民皆保険体制の基盤をなす制度であり、被用者保険に加入していない全ての人を対象とする医療保険制度である。

しかし国民健康保険料の値上げが続き、基金の繰り入れによって緩和されている亀岡市においてもこの2年で14,000円以上の値上げとなり、今後の市民生活を圧迫する懸念がある。

国は、全国知事会・全国市長会から、さらなる公費の投入を要望されているところであるが、同時に制度そのものの改善・改革を急がなければ国民健康保険制度そのものが崩壊しかねない。

安定した国民皆保険制度の運営が可能となるよう、国民健康保険への国庫負担率の引き上げと国民健康保険法第一条に定める目的である「社会保障および国民保険の向上に寄与する」ため、早急な制度の改革を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和7年6月　　日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
厚生労働大臣

宛

亀岡市議会議長 小川 克己

写

別紙No.2

令和7年6月26日

亀岡市議会議長 小川 克己 様

発議者 環境市民厚生常任委員長 土岐 新

意見書案の提出について

別紙意見書案を当市議会の議決をもって、それぞれの宛先に提出されたく、亀岡市議会会議規則第14条第2項の規定により提出します。

医療・介護従事者の処遇改善を求める意見書（案）

4月に発表された2024年度の消費者総合物価は、前年度比3.0%となり、2022年度以降、3%台の高い上昇が続いているが、実質賃金は2022年から3年連続前年度比マイナスで、国民の暮らしは厳しさをましている。

こうした中、政府財界ともに賃上げ奨励実施、2025年は大企業で平均5.37%、300人以下の中小企業でも4.97%の上昇となっている。

コロナ禍以来、患者・利用者のいのちと健康を守るため力を尽くしてきた医療・介護労働者は、その責任に見合わない低水準の処遇、物価高騰が続く一方で、他産業以下の賃金改善しかできていない。そんな中、次々と職場を離れていくっている。

看護・介護が選ばれない職になることは、この国のいのち・健康を守る社会インフラとしての医療・介護に深刻な影を落としていることになる。

介護職員は、介護保険制度が始まって以来初めて減少に転じ、看護職員の離職と確保難による病棟閉鎖が広がり、医療・介護の崩壊が始まっている現状がある。

患者・利用者・住民にとってなくてはならない地域の医療・介護資源を維持し、守っていくためには、その社会的役割に相応しい賃金水準を実現していくことが不可欠である。

よって、賃金水準の大幅な引き上げなど医療・介護従事者の処遇改善を早急に行うよう求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和7年6月　　日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
厚生労働大臣

宛

亀岡市議会議長 小川 克己

写

資料 No. 3

令和 7 年 6 月 26 日

亀岡市議会議長 小川 克己 様

発議者 平本 英久

木村 黙

富谷 加都子

決議案の提出について

別紙決議案を議決されたく、亀岡市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

恒久平和を願い平和社会の実現を目指す決議（案）

本年は、戦後80年にあたり、本市においては市制施行70周年であるとともに世界連邦平和都市宣言を行ってから70年の節目を迎える。

本市では全ての小・中・義務教育学校において、平和の尊さを学ぶ一環として平和学習のため広島県、沖縄県への修学旅行を行っている。

とりわけ京都と沖縄の関係は深く、先の大戦において、民間人を巻き込んだ激しい地上戦が行われた沖縄の地において、京都府出身の将兵2,536名が犠牲となられた。

昭和39年4月特に激戦を極めた宜野湾市嘉数高台公園内に、京都府沖縄慰霊塔建設奉賛会（一般社団法人沖縄京都の塔奉賛会）の方々のご尽力によって、慰霊のための沖縄「京都の塔」が建立された。その碑文には、「再び戦争の悲しみが繰りかえされることのないようまた併せて沖縄と京都とを結ぶ文化と友好の絆がますますかためられるようこの塔に切なる願いをよせるものである」と刻まれている。

また、この同じ敷地には、昭和50年6月に一般社団法人沖縄京都の塔奉賛会によって、戦火に倒れられた嘉数地区の住民343名を慰霊する「嘉数の塔」も建立されている。

亀岡市議会は、これまで長年にわたり、京都と沖縄との絆をつないでこられた京都の偉大なる先人たちのご遺徳に深甚なる敬意と感謝の意を表するとともに、現在世界各地で紛争が絶えないという非常に不安定な国際情勢が続いている中において、戦争という悲劇を二度と繰り返さないためにも、正しい歴史認識を後世へと引き継ぎ、世界平和の実現に向け努める。

以上、決議する。

令和7年6月　　日

亀岡市議会

写

資料 No. 4

令和 7 年 6 月 26 日

亀岡市議会議長 小川 克己 様

発議者 西口 純生

松山 雅行

決議案の提出について

別紙決議案を議決されたく、亀岡市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

筆舌に尽くし難い苦難、計り知れない損害と苦痛を経験された
沖縄県民に心を寄せ、正しい歴史認識を後世に語り継ぎ、
恒久平和の実現に力を尽くす決議（案）

本市は、世界連邦平和都市宣言を発して70年である。

近年では、市内全ての小・中・義務教育学校においては、戦争の悲惨さ、
平和の尊さを学ぶため、広島県、沖縄県へ訪問し、平和学習を行っている。

とりわけ、沖縄戦において、沖縄県民は国内最大の地上戦を経験し、多くの方々が犠牲となり、筆舌に尽くし難い苦難を経験されたこと、何の罪もない人々に、計り知れない損害と苦痛を与えた戦争を、国策として我が国が進めたことを事実として、日本国政府も談話や国会答弁を行っている。

しかしながら、主権者である国民の信託を受け、全国民を代表して国政の審議に当たる重要な職責を担っている国会議員による、信じ難い発言や見解があったことで、沖縄県民のみならず多くの方の心を深く傷つけた。これに対し、遺憾の意を表明する。

今を生きる私たちができるることは、悲惨な経験を風化させることなく、歴史に敬意をもって丁寧に向き合い、全ての戦争犠牲者の記憶を継承し、史実に基づいた正しい歴史認識を決して忘れることなく、後世に伝え続けることである。

亀岡市議会は、令和3年9月議会において、「沖縄戦戦没者の遺骨等混入土砂を埋め立てに使用しないことを求める意見書」を全会一致で可決している。今後も、会派や立場を超えて、沖縄県民の心情に寄り添い、沖縄戦の歴史に真摯に向き合うことを表するとともに、再び戦争の悲しみが繰りかえされることのないよう、恒久平和の実現に力を尽くしていく。

以上、決議する。

令和7年6月　　日

亀岡市議会

令和7年亀岡市議会定例会 9月議会日程（案）

別紙No.5

(議会期間 32日間)

月	日	曜日	会議等	備考
8/	15	金	市長・議長議案調整、議運事前調整	
	16	土		
	17	日		
	18	月	(議案送付) 議会運営委員会、広報部会・広聴部会、広報広聴会議	幹事会、会派会議
	19	火		
	20	水	<17:00:一般質問通告書データ提出>	
	21	木		
	22	金		
	23	土		
	24	日		
	25	月	【定例会再開】 <12:00:一般質問通告期限／17:00:請願書等提出期限>	
	26	火		
	27	水		
	28	木		
	29	金		
	30	土		
	31	日		
9/	1	月		
	2	火	市長・議長議案調整（追加議案）、議運事前調整	
	3	水	【一般質問】（追加議案送付）議会運営委員会 <本会議終了時：質疑通告期限>	幹事会、会派会議
	4	木	【一般質問】	
	5	金	【一般質問】	
	6	土		
	7	日		
	8	月	【一般質問ほか】（追加議案提案）	
	9	火	総務文教常任委員会	
	10	水	環境市民厚生常任委員会	
	11	木	産業建設常任委員会	
	12	金	決算特別委員会（全体会、分科会）	
	13	土		
	14	日		
	15	月	(敬老の日)	
	16	火	決算特別委員会（分科会）	
	17	水	決算特別委員会（分科会）	
	18	木	決算特別委員会（分科会）	
	19	金	決算特別委員会（分科会、全体会）	
	20	土		
	21	日		
	22	月	(委員会予備日) <10:00:意見書等提出期限>	
	23	火	(秋分の日)	
	24	水	市長・議長議案調整（人事議案）、議運事前調整、 議会運営委員会 <16:00:討論通告期限>	幹事会、会派会議
	25	木	各常任委員会、決算分科会委員長会議、議運事前調整、 議会運営委員会 【定例会休会】 議長記者会見、広報部会・広聴部会	会派会議